

消防指令システムの機能向上について

1 新たな機器・機能

(1) バックアップ電源の増設

消防指令システムの停電時のバックアップ電源として配備している直流電源装置（整流器＋蓄電池）を1台増設し、消防指令システムの冗長性が向上しています。

直流電源装置を2台にすることにより、すべてのバックアップ電源が2重化され、より冗長化が図れるようになります。

(2) データ指令端末

大規模災害発生時に119番通報が輻輳し、出動要請件数が対応可能消防隊数を超過してしまった場合、その保留事案を消防指令センターから各方面隊（中央、北、南、三浦各消防署及び葉山町消防署）に配したデータ指令端末に送信し、その端末上で事案管理をすることにより、対応漏れを防止します。

(3) バックアップ回線の新設

これまで指令センターと葉山町消防署を接続する回線は、データ回線（光）1本と放送回線が1本でした。データ回線に障害が発生した場合、消防無線が不通となり、現場と無線通信ができなくなるシステム構成でした。データのバックアップ回線を新設したことにより、データ回線障害発生時においても、通常時に近い運用ができるようになりました。

2 基本機能の向上

基本機能自体が向上しており、現行消防指令システムと比較して大幅な機能向上をしています。

(1) 指令台ディスプレイのタッチ操作

指令台の各ディスプレイがマウス操作に加え、指（専用ペン）でのタッチ操作が可能となっており、スマートフォンのように地図のスクロールや拡大縮小が指操作で行うことができ、出動隊の選択や出動ボタンなども指操作ができるようになっています。

これにより、よりスムーズな指令台操作が可能となり、119番着信から出動指令送信までの時間短縮が期待できます。

(2) 目標物検索機能

周囲に見える目標物（銀行、コンビニ、ビル名、信号など）を聞き取り、指令システムで選択することにより、通報者の場所を絞り込む機能で、地理に不案内な通報者からの119番通報時でも確実に災害点を特定することが期待できます。

(3) 指令台での手書きメモ機能

指令台の1画面に手書きメモ画面が加わり、車両動態管理装置に対して、自由なコメントを送信したり、負傷箇所情報（人体図に○を付けたり、コメントの入力が可能）をフォーマットから送信したり、指令台の地図画面を取り込み、進入経路に矢印をつけて送信したりすることが可能となります。

無線等の音声情報だけでなく、視覚情報を送ることにより、意思の齟齬や進入方法の誤りを防止することが期待できます。

(4) 地図検索装置のグーグルマップ連携

119番通報を受け付け、確認中の地点又は確定した災害点の地図座標情報を送信することで、連携したグーグルマップの地図が別画面に表示することができます。

平面地図では見ることのできない高低差、建物形状や色、周囲の状況が確認できることから、災害点のより確実な特定や消防隊への詳細情報の提供が可能となります。

(5) LIVE119機能

緊急通報時、音声通話の他に通報者のスマートフォンから現場の状況を映像で送ってもらい、音声だけでは伝わりづらい現場状況を正確に把握し、出場部隊・必要資機材が容易かつ的確に選定することができる機能です。

また、心肺停止の傷病者に対し正しい心肺蘇生法ができているかを判断し、できていない場合は適切な指導を行うことができる機能です。

LIVE119活用件数

令和5年8月1日～令和6年3月31日

横須賀市・葉山町

種別	件数
火災	9
救助	21
救急	17
救急(救命)	92
偵察	1
危険排除	2
その他	0
合計	142

葉山町

種別	件数
火災	0
救助	3
救急	1
救急(救命)	8
偵察	0
危険排除	1
その他	0
合計	13

負傷部位の状態確認

令和6年4月1日～令和6年8月31日

横須賀市・葉山町

種別	件数
火災	25
救助	14
救急	13
救急(救命)	82
偵察	1
危険排除	4
その他	5
合計	144

葉山町

種別	件数
火災	3
救助	3
救急	0
救急(救命)	7
偵察	0
危険排除	1
その他	1
合計	15

調査出場（道路漏水）